

平成 30 年度第 2 回燕市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

日 時 平成 31 年 2 月 12 日（火） 午前 10 時 30 分～午前 12 時

会 場 燕市役所 4 階 401 会議室

出席委員 池田 富二 小野塚 正史 荻原 一郎 旭 朝子
平岡 浩明 皆川 弘保 丸山 平一 武田 弘子

欠席委員 柴山 義榮 小島 和浩 灰野 正宏

事務局 教育長 仲野 孝 社会教育課長 更科 明大
スポーツ推進室長 亀井 浩司 社会教育課課長補佐 廣田 友幸
スポーツ推進室主任 村上 いつか

1 開 会

2 副会長あいさつ

3 議 題

(1) 平成 30 年度スポーツ推進事業等の報告について

- ① 指定管理者による体育施設の運営状況 資料 1
- ② 業務委託の状況 資料 2
- ③ 主要事業について 資料 3
東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会
ホストタウン推進事業
スポーツ拠点化推進事業
- ④ 主なスポーツ施設整備状況について 資料 4

(2) 平成 31 年度スポーツ推進事業等について

- ① 主要事業(案)について 資料 5
スポーツ推進事業（マラソン大会リニューアル）
東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業
ホストタウン推進事業（東京五輪キャンプ地誘致事業含む）
- ② 主なスポーツ施設整備予定について 資料 6

4 閉会のあいさつ 燕市教育委員会 教育長 仲野 孝

5 閉 会

会議録

- 事務局：これより、平成 30 年度第 2 回燕市スポーツ推進審議会を開会いたします。
初めに燕市スポーツ推進審議会会長よりご挨拶をいただくところですが、所要にて欠席となっておりますので、副会長の池田 様からご挨拶をお願いいたします。
- 副会長：おはようございます。寒い中、多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。不慣れではありますが、今日の審議会よろしく申し上げます。
- 事務局：ありがとうございました。それでは本日の欠席委員の報告をさせていただきます。
柴山会長、小島委員、灰野委員が欠席でございます。本日は過半数の出席を得ておりますので、会議が成立することをご報告いたします。本日配布した資料の確認をお願いします。不足している資料はありませんでしょうか。無いようですので次第に沿って進めさせていただきます。
条例により審議会は会長が召集し、会長がその議長となるとなっております。本日会長は欠席されておりますので、池田副会長から議事の進行をお願いします。

議事録

- 議長：それでは議事に入ります。まず、平成 30 年度スポーツ推進事業等の報告について、事務局説明をお願いします。
- 事務局：資料 1 の指定管理者による体育施設の運営状況について、体育施設の利用状況を説明。利用者については別紙のとおり。累計でみると燕地区については、体育センターは受変電等の改修工事を行っており 9 月中旬から 10 月中旬にかけて利用制限をかけていたことから減少となっている。吉田地区については、定期利用者や部活動の利用の減及びビジョンよしだでの利用の減のため減少している。分水地区の増加理由は、おいらん道中の雨天会場となったのが主な理由と聞いている。次に、3 地区体育館一般開放について、月 1 回開催している。燕地区 960 名、吉田地区は 939 名、分水地区では 991 名の参加あり。昨年度より 52 名増加している。指定管理者の方で色々なイベントを開催し集客を図っている。
- 議長：事務局より説明が終わりました。ご質問やご意見がありましたらお願いします。
- 委員：体育施設の利用人数について、燕市のスポーツの 10 年計画の中でスポーツ人口の増加を図ろうということで数字が示されておりますが、目標に対してどれくらい達成しているのか。また月別利用者数で 1 月、2 月が減っている。スポーツ人口が減っている中で、旧燕市内においての冬期間の屋外施設の使用禁止という条例があり利用者数が上がらない。ましてや今年は雪が降らないので、外で野球やサッカーができるのではないかという状況の中で地区別での条例の整合性をいかにとっていただけるか。

事務局：利用者については指定管理に移行した直後は指定管理者の工夫により利用者は増えてきたが、ここ最近はなかなか利用者の増加が出てこない。それは指定管理者の方で色々と工夫しながら利用者増を図っていくというふうに聞いています。人口減少の中で利用者を増やすのは厳しいものがありますが、皆さまからも先頭に立っていただき、積極的に働きかけていきたいと考えています。

また、冬期間の利用については、地区によって利用できる場所とできないところがあり不公平なところがあると聞いています。その対応としては、時間外特例申請を出していただき、利用をしていただいているが、条例上の公平性は施設使用料の見直しと合わせた中で公平性を図っていきたいと考えています。

議長：他に無いようでしたら②に移ります。

事務局：資料 2 について、業務委託の状況を説明。

スポーツ教室について、燕地区では 14 教室を実施し 1,499 名の参加。吉田地区では、9 教室を実施し 1,405 名の参加。分水地区では、8 教室を実施し、1,621 人の参加。燕地区のバウンドテニス教室は新たに開催。前期 5 人、後期 9 人で多少の増加傾向にあるが、市で力を入れている教室なので参加者増に向けて強く働きかけていきたい。

次に市民健康ウォークについて説明。参加者は約 200 名。酒呑童子行列の前日イベントということで飲食店等が出店。

次にスポーツ指導者講習会について、燕市出身の宇佐美彰朗さんを講師にお招きし、「スポーツ界の今後の課題と展望～スポーツボランティアの定着に向けて」というテーマで講演をしていただいた。宇佐美さんには燕市の PR 大使、燕さくらマラソン大会アンバサダーに就任していただき色々な PR 活動をしていただいている。当日は 150 名の参加を得て、スポーツボランティアについて先進地のヨーロッパでの動向を例えながらお話ししていただいた。

山本潤さんのスポーツ指導者講習会では、「スポーツメンタルトレーニングの活用法」について、実技と講演会をしていただいた。スポーツメンタルトレーニングは大リーガーの大谷翔平選手も取り入れているということで、非常に注目されているメンタルトレーニング方法だと思う。当日は 3 時間近くの講演会であったがあつという間に時間が過ぎた。

議長：資料 2 について質問がありましたらお願いします。無いようでしたら③の主要事業の報告をお願いします。

事務局：資料 3 平成 30 年度主要事業である、東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業について説明。平成 30 年度は 8 月 17 日～19 日燕市で開催。大会結果は、優勝が松山市、準優勝が浦添市、3 位が燕市、4 位が西都市。大会終了後、レセプションなどで 4 市の交流を図った。

続いて、ホストタウン推進事業を別紙資料のとおり説明。オリンピックキャンプ

誘致ということで種目はアーチェリー競技。これまでパラについてはモンゴル国のパラアーチェリーチームの誘致に成功しており、今後各国でオリンピックの参加チームが決定していくのに合わせてPR活動をしていく。その他にもオリンピックを通してということで、根木氏によるあすチャレ！school を吉田南小、小中川小、島上小、燕西小、吉田中で実施、山本氏によるあすチャレ！Academy を開催した。また、5月17日から5月31日にかけてモンゴル国パラアーチェリー協会が大会の事前キャンプを行った。また、嶋田氏によるモンゴル語入門講座を4回開催した。

続いてスポーツ拠点化推進事業について説明。地域おこし協力隊の採用について、様々な方法で募集をしており、今まで2件のお問い合わせをいただいたが条件が合わず採用に至っていない。早急に採用し本事業を軌道に乗せていきたい。

つばめアスリート弁当については4種類の弁当を販売しており、合計で2,905個の発注をいただいている。調理協力店については3つの協力店で進めている。

合宿・大会については8件誘致している。

議長：資料3について質問がある方いらっしゃいますか。無いようでしたら④の主なスポーツ施設整備状況について報告をお願いします。

事務局：資料4の平成30年度主なスポーツ施設整備状況について説明。一つ目のスポーツランド燕屋内運動場外装及びトイレ洋式化改修については、建築後24年が経過し外装等に傷みが多く見られたため改修を行った。トイレの洋式化についても利用者から望まれていたので併せて改修工事を行い環境整備と利便性を図った。改修工事にあたっては多少出入り口付近で利用者に不便をかけたものの、利用制限をかけずに行った。

二つ目の燕市民体育館受変電設備等改修工事について、建築後40年以上が経過し様々なところで不具合が生じていた。自家発電設備については故障して緊急時に動かないといったことで問題があったので早期に改修を行った。併せて雨漏りの指摘もあったことから体育館の大屋根も塗装し直し、避雷針の設備も取り換えた。工事の際には9月中旬から10月中旬にかけて利用制限をかけさせていただいたがきれいになった施設を利用者の方にご利用いただいている。

議長：資料4について質問がある方はいらっしゃいますか。

委員：スポーツランド燕は屋外にもトイレが2箇所あったと思いますが、現在も使用できる状態ですか。

事務局：利用はできます。ただし旧来どおりのトイレです。

委員：そこは改修したりすることは考えていますか。

事務局：洋式化については予算要求をしているところですが、状況が厳しいといったところで、優先順位をつけながら計画的に整備をしています。

議長：外のトイレは電気が暗いようですね。

委員：暗いし、女性が夜市民ナイターなどで利用するときにはものすごく怖い。

事務局：電気の球が切れているということではなくて照明自体が暗いということですか。

委員：近辺も暗いし、入った感じも暗い。Aコート側は照明の影でグラウンドとグラウンドの間にあるし、遠い方は照明の下でそんなに明るい場所ではない。

事務局：構造的に暗いということですね。

委員：昼間は外の明かりもあるからいいと思うけど、夜の利用となると練習されている女性の方もいるので…

事務局：現状確認をして、緊急的に照明をつけられるかどうか検討したいと思います。

委員：一部物置化しているんですよ。整理するときれいになるかもしれないですね。

事務局：一時男子トイレと女子トイレの中央が物置になっていたが、そういったお話しがあつてきれいにしました。ですがなかなか置き場所が無くちょうど屋根があるので利用させてもらっています。

委員：急がないけれども、市外などからの利用もあるのでトイレはきれいな方がよいと思います。

議長：他にありませんでしょうか。なければ次に移ります。

事務局：資料5平成31年度スポーツ推進主要事業。スポーツ推進事業ということでマラソン大会リニューアルは、本日お配りしたパンフレットのとおり。第30回を迎える「燕マラソン大会」を、名称新たに『燕さくらマラソン大会』とし、スタート・ゴール地点を大河津分水さくら公園に移して開催。これまでの申込者数は、1月末現在で730名。内訳は、インターネットが620名、郵便振替・窓口が89名、ふるさと納税が12名、メディカルランナーが9名。本日早朝申込状況を確認したところネットで763名、全国各地からお申し込みをいただいている。2月末が申込締め切りなので駆け込みでどんどん参加者が増えていくのではないかと思う。

二つ目の東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業について、東京ヤクルトスワローズに係る自治体4市において大会を持ち回りで開催。今年度は燕市が本大会の会場となったが来年度は宮崎県西都市で開催予定。燕市の予選会は4月28、29日頃を予定。

三つ目のホストタウン交流事業について説明。参加国が決まってくるのでタイミングをみながらPR活動を積極的に活動していく。そのほかにもモンゴル国パラアスリートチームの事前キャンプを5月に実施する予定。これまではホテルに宿泊してもらっていたが、来年度は民泊をしていただきながら合宿をしてもらう予定。さらにモンゴル語講座やあすチャレ! school、あすチャレ! Academyを今年度に引き続き開催予定。

議長：資料5についてご意見、質問ある方いらっしゃいますか。無ければ次に移ります。

事務局：資料6の平成31年度主なスポーツ施設整備予定について。一つ目の分水多目的屋内運動場外装改修事業。屋内運動場1号棟は築後21年が経過しており屋根のさび

や外壁の傷みが著しいので、屋根・外壁の塗装工事を行うことにより施設利用者の利便性を図るため改修工事を実施。

二つ目の B&G 海洋センター改修事業。B&G 海洋センターの老朽化している配管やプール槽シートの貼り替え、プールサイドの整備によって環境が改善され、多くの利用者が楽しくかつ快適に利用できる場を提供する。プールサイドは不陸が生じており、裸足で歩くと危険なので改修工事を行う。建築から 30 年以上経過し、配管やプール槽もだいぶ傷んでいることから併せて改修を行う。

三つ目の分水テニスコートナイター照明改修事業。昭和 54 年建設でだいぶ老朽化が進んでおり、特に安定器格納ボックスが腐食し、雨漏りが生じて漏電の危険性があるため改修する。併せて LED 化して省電力化を図る。

議長：資料 6 について質問ありますでしょうか。無いようでしたらこの際ですので皆様から色々なスポーツの推進につきましてご質問等ありましたらお願いします。

委員：さくらマラソンについて、卓球連盟からスタッフを出してくれという話があるが、それ以外の状況はどうなっていますか。

事務局：スタッフについては、スポーツ協会加盟団体や市の職員、まち協、地元の自治会さんにもお声かけさせていただいています。あとはボランティアをやりたいという声もあるのでご協力いただきたいと思っています。スタッフについてはおおむね 250 人から 300 人程度必要と考えています。

議長：他にありますか。

委員：三燕グラウンドについて、4 年ほど前に全天候にさせていただいて普段の練習等はたくさんの方が練習させてもらって素晴らしい環境だと思っているが、河川敷ということもあり器具をしまっておく場所がなく大会運営が困難です。駐車場も少ないということから応援に来られるあるいは役員で来られる方、選手等が停める場所がないという風な色々な問題があります。もしできたら三条市と協力させていただいて、長い目で計画して大会運営に支障のない施設整備をしていただきたい。

事務局：河川敷のため小屋の設置などについては法律の観点から難しいところがあります。トイレについても洪水が起こった際に運搬できる形体でないといけないなど法律が絡んでくると皆さんが要望するものをかなえるのが難しいのが現状です。また、スポーツに取り組む人口が増えてきている中、駐車場の確保については今後の課題。現状としては現在の駐車場と防災センターをご利用いただいています。三条市と話をする中で長期計画を持ち取り組んでいく必要がありますが、まずもって必要性の検討から行いたいと思います。

委員：大会が重なると厳しい。奥の耕作放棄地を活用して整備するなど、なんとかできれば一番良いと思います。

事務局：三条市との会合でご意見として伝えたいと思います。

議長：続いてパンフレットについて説明をお願いします。

事務局：食育セミナーについて紹介。

議長：他にありませんでしょうか。しばらくして無いようですので進行を事務局にお返しします。委員の皆様ご協力ありがとうございました。

事務局：閉会にあたり仲野教育長がご挨拶申し上げます。

教育長：今ほどは慎重なるご審議をいただきありがとうございました。燕市も合併してから健康スポーツ都市を宣言して 10 年以上ということでもあります。多くの市民の方々がスポーツを通じて健康で豊かな生活を送ろうということが基本となった宣言であり、今日事務局から説明させてもらったこと、また平成 31 年度に向けた様々な行事についてはその一端を担うものと考えております。そういった意味では本審議会で色々と要望をいただきましたが日頃から指定管理者や市職員の事務局が気付かないようなところを利用者の目線からご要望いただけることについては、すぐに対応できる物と時間をかけて対応するもの様々ありますが、利用者が利用しにくいという部分については改善できるものから進めていきたいと考えております。先ほど担当から話がありました食育セミナーやマラソン大会についても机上にお配りしています。マラソン大会については、760 名くらいということですが私どもはウォーキングも含めて目標は 1,500 名くらいいいかなと思っていて、最後は口コミが一番大事になってきますので皆さんからもそれぞれのところでお話しいただいて、たくさん参加していただきたい。燕市の PR 大使になっていただきました宇佐美彰朗さんの講演会では「スポーツボランティア」ということでお話しがありましたが、これからいろんなイベントをするにあたっては市民の方々のボランティアも非常に大事なものになってくるので皆様からのお力添えをいただきたい。平成 31 年度の事業についてお話をさせていただいておりますが、また皆様にご報告させていただくとともに引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

事務局：それでは、これで平成 30 年第 2 回スポーツ推進審議会を終了いたします。